

令和3年度 高等学校等給付奨学生申請者 調査書

令和 年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会 島根支部長 様

以下の記載事項に相違ありません。

奨学生 申請者 (生徒)	氏名	Ⓜ	学校・学年			
	現住所	〒			生年月日	平成 年 月 日
親権者	氏名	Ⓜ	勤務先			
	現住所	〒			電話番号	

同一生計家族 (aとbの人数の計 人)					世帯人員による収入基準額	A	
就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	★所得の種類	収入・所得金額等(万円未満は切捨て)		所得
					給与収入	年金等収入 その他所得	
				給与収入・年金等収入・その他の所得			
				給与収入・年金等収入・その他の所得			
				給与収入・年金等収入・その他の所得			
				給与収入・年金等収入・その他の所得			
				給与収入・年金等収入・その他の所得			
a 就学者を除く家族の人数 ( 人)					所得額	B	
就学者	続柄	氏名	年齢	★設置者	★就学先	★通学状況	就学者控除
	本人			国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
b 就学者の人数 ( 人)					就学者控除	C	

家庭事情	*ア～オで該当する場合は□内にチェック					特別控除
	<input type="checkbox"/>	ア 母子・父子世帯				
	<input type="checkbox"/>	イ 障がいのある人がいる世帯		人数 ( 人)	続柄 ( )	
	<input type="checkbox"/>	ウ 長期療養者(6月以上の療養)がいる世帯		人数 ( 人)	続柄 ( )	
	<input type="checkbox"/>	エ 主たる家計支持者が別居している世帯				続柄 ( )
	<input type="checkbox"/>	オ 火災・風水害等の被害を一昨年(前年)の1月以降に受けた世帯				
	カ 奨学金給付を必要とする家庭事情等を記入して下さい					D

控除計 C+D=E	認定所得金額 B-E=F	F/A(%)
--------------	-----------------	--------

◎この調査書に記載されている個人情報、奨学金業務のためにのみ利用し、その他の目的に使用することはありません。

【注意】虚偽の記載がある場合は、給付を取り消します。

記入例

令和3年度 高等学校等給付奨学生申請者 調査書

令和 3年 5月20日

公益財団法人日本教育公務員弘済会 島根支部長 様

記入日

以下の記載事項に相違ありません。

奨学生 申請者 (生徒)	氏名	教弘 太郎 (教)	学校・学年	出雲東高等学校定時制課程・第2学年		
	現住所	〒 <small>氏名はそれぞれ本人が自書</small> 出雲市大社町平田12-34		生年月日	平成16年 4月15日	
親権者	氏名	教弘 花子 (教)	勤務先	AJきょうこう出雲支店		
	現住所	〒699-1234 出雲市大社町平田12-34		電話番号	0853 <small>網掛け部分は記入しない</small>	

同一生計家族 (aとbの人数の計 7人)				世帯人員による収入基準額	A
----------------------	--	--	--	--------------	---

続柄	氏名	年齢	★所得の種類	収入・所得金額等 (万円未満は切捨て)			所得
				給与収入	年金等収入	その他の所得	
a 母	教弘 花子	45	給与収入・年金等収入・その他の所得	199			
祖父	教弘 稲男	72	給与収入・年金等収入・その他の所得		60	3	
祖母	教弘 草枝	70	給与収入・年金等収入・その他の所得		42		
姉	教弘 朝顔	18	給与収入・年金等収入・その他の所得				
弟	教弘 光	5	給与収入・年金等収入・その他の所得				
a 就学者を除く家族の人数 ( 5人)							

・収入等の記入については「記入上の注意」をよく読むこと  
 ・専修学校一般課程、各種学校(予備校等)在籍者はa欄(就学者を除く家族)に記入

続柄	氏名	年齢	★設置者	★就学先	★通学状況	就学者控除
b 本人	教弘 太郎	17	国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
妹	教弘 未来	11	国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
			国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅外	
			国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅外	
			国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅外	
b 就学者の人数 ( 2人)						就学者控除 C

特別支援学校・義務教育学校在籍者は就学先の記載について「記入上の注意」をよく読むこと

*ア～オで該当する場合は□内にチェック				特別控除
家庭 事 情	<input checked="" type="checkbox"/> ア 母子・父子世帯			
	<input checked="" type="checkbox"/> イ 障がいのある人がいる世帯	人数 ( 1人)	続柄 ( 妹 )	
	<input type="checkbox"/> ウ 長期療養者(6月以上の療養)がいる世帯	人数 ( )	続柄 ( )	
	<input type="checkbox"/> エ 主たる家計支持者が別居している世帯	人数 ( )	続柄 ( )	
	<input type="checkbox"/> オ 火災・風水害等の被害を一昨年の10月1日以前に被った世帯			
カ 奨学金給付を必要とする家庭事情等を記入して下さい 私が、小学生の時に父が死亡したため、母子家庭である。 収入は母の給与収入以外は祖父母の年金と祖父のわずかな農業収入のみである。 姉は各種学校に通学している。 また、妹は障がいがあり母が毎日学校へ送り迎えをしている。				D

イ～オは証明書類の添付が必要

控除計 C+D=E	認定所得金額 B-E=F	F/A(%)
--------------	-----------------	--------

◎この調査書に記載されている個人情報は、奨学金業務のためにのみ利用し、その他の目的に使用することはありません。

【注意】虚偽の記載がある場合は、給付を取り消します。

## 調 査 書 記 入 上 の 注 意

- 調査書記載の個人情報はこの奨学金のためにのみ利用し、その他の目的に使用することはありません。
- 記入に当たっては、別紙「記入例」を参照してください。
- 記入間違いをしたときは、二重線で消し訂正してください。
- 網掛け部分は、事務局で使いますので記入しないでください。

【注意事項】虚偽の記載があった場合は、奨学金の給付を取り消します。

### 申請者・親権者の欄

親権者は「給付奨学生申請書」と同じ者を記入し、「氏名」は必ず申請者と親権者それぞれ本人が自書すること。

### 同一生計の家族の欄

- 同居・別居を問わず、申請者と生計を一にする家族全員について記入。  
就学者以外の者は「a 就学者を除く家族」の欄に記入し、就学者は「b 就学者」の欄に記入。なお、「続柄」は申請者からみた関係で記入すること。なお、人数についてはa 欄、b 欄及び計の3か所に記入。
- a 就学者を除く家族（父母・祖父母、未就学者等）について
  - ・収入・所得がある者は「★所得の種類」について下記の表を参考に該当するものを○で囲み、直近の所得証明書等に記載の数字により年間収入・年間所得金額（1月から12月まで）を該当欄に記入。

<収入・所得の種類の種類>

所得の種類	収入等の具体例	金額記入方法（所得証明書等から）（万円未満切捨て）
給与収入	給与、役員報酬等	控除前の収入金額・支払金額を給与収入の欄に記入
年金等収入	年金、傷病手当金、失業給付金等	控除前の収入金額・支払金額を年金等収入の欄に記入
その他所得	農業所得、小売業、自由業等	控除後の所得金額をその他所得の欄に記入

- \* 同一の者で複数の収入源（例；給与収入と農業所得等）があるときは、該当するすべての種類を○で囲み、年間収入・所得金額を記入。
- \* 年金収入・雑収入等がありながら、所得証明書に記載がない場合は、市町村等が発行した金額の記載された通知等により控除前の収入・支払金額を記入し、それを証明する書類（写）を添付する。
- \* 昨年度中に就職・転職等した場合や、本年度に新たに就職した場合は、勤務先の証明等から申請時現在の月収及び賞与等参考にして1年間分を推算した金額を記入し、勤務先の証明等（写）を添付する。
- \* 失業中の者は、失業給付金受給証明書等（写）を添付すること。
- b 就学者とは、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程）、短期大学、大学、大学院に在学する者をいう。  
専修学校一般課程及び各種学校（予備校等）などに在学する者は、「a 就学者を除く家族」の欄に記入。  
就学者は、「★設置者」、「★就学先」、「★通学状況」について該当するものを○で囲む。  
なお、義務教育学校の前期課程在籍者は小を、同後期課程在籍者は中を○で囲む。また、特別支援学校在学者は在籍する学部（小・中・高）を○で囲む。

### 家庭事情の欄

- 収入の認定において所得控除の対象とする場合があるので、下記ア～オのような家庭事情等がある場合は、□にチェックを入れ、該当する者の人数・続柄を記入。  
なお、イ～オについては、下表の右欄にある証明書類等を添付すること。  
また、「カ」欄には、奨学金給付を必要とする家庭事情等を具体的に記入すること。

家庭事情等	添付すべき証明書等
ア 母子・父子世帯	（必要があれば、家庭事情等を具体的に「カ」欄にも記入）
イ 障害のある人がいる世帯	障害者手帳や介護保険被保険者証等のコピーを添付
ウ 長期療養者（6か月以上の療養）がいる世帯	昨年の1月以降に支出した医療費、介護サービスの自己負担金等の領収書のコピーを添付 ただし、健康保険等により医療給付を受けた金額または損害補償等により補填された金額については除く。
エ 主たる家計支持者が単身赴任等で別居している世帯	別居している主たる家計支持者の住民票等を添付
オ 火災・風水害等の災害の被害を受けた世帯	罹災証明書等を添付 * 一昨年の1月以降に被害を受けた場合に限る